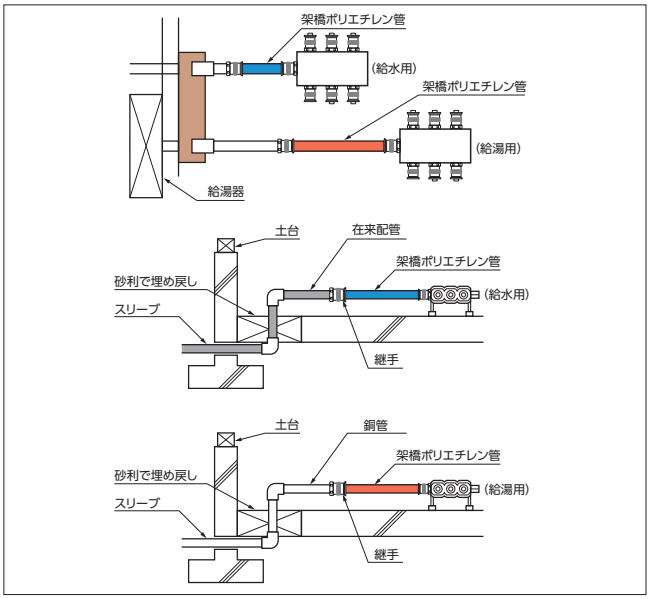
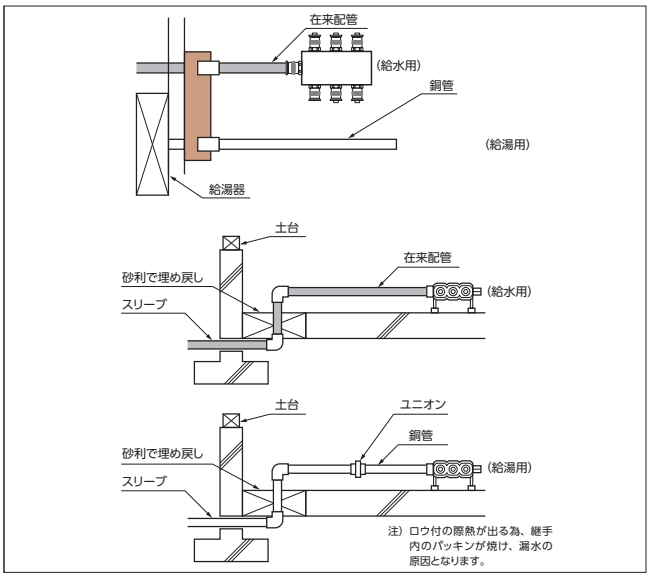
ヘッダーへの引き込み

マルチヘッダーは分解禁止となっています。但し、架橋ポリエチレン管の差し間違い等によりやむを得ず交換する際はジョイントファスナーを取りはずし、ファスナーアダプターを本体より引き抜いてください。再接続の際は、必ずファスナーアダプターに傷がないことを確認した後、本体に差し込み、ジョイントファスナーを取り付けてください。保温材は接着剤がとれている為、テープ等でとめてください。

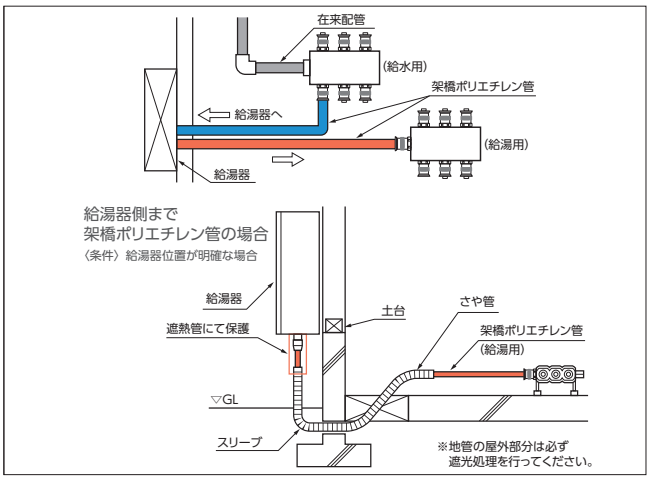
■引き込み配管① 立ち上げ部～ヘッダーまで架橋ポリエチレン管の場合



■引き込み配管② ヘッダーまで在来配管の場合



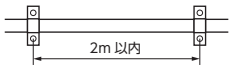
■引き込み配管③ 立上げ部～給水用ヘッダーまでを在来配管 給水ヘッダー～給湯器まで架橋ポリエチレン管 給湯器～給湯用ヘッダーまで架橋ポリエチレン管の場合



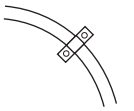
パイプの固定

❶パイプをサドルバンドで固定します。
直線部：2m以内で固定
住設機器への立上げ部：立上げ位置より750mm以内で固定
屈曲部：曲げRの頂点で固定
2階への立上げ部：500mm以内で固定
吊下げ部：1000mm以内で固定
❷サドルバンドの取り付けは、「パチッ」と音がするまではめ込んでください。

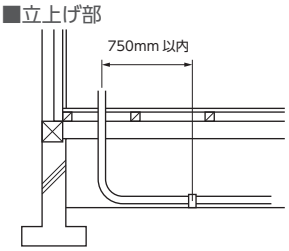
■直線部



■屈曲部

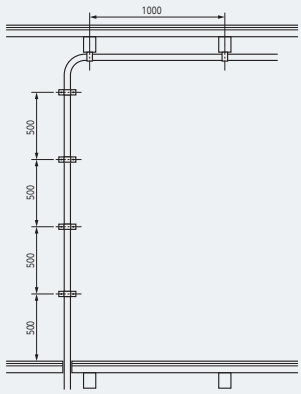


■立上げ部



■2 階への立上がり部及び吊り下げ部のパイプの固定

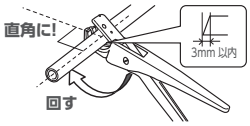
(単位：mm)



施工手順

1 管の切断

パイプカッターで樹脂管を管軸に対して直角に切断する。



斜め切断は、漏水の原因となります。
二度切り、ノコギリの使用は厳禁です。
回さないと切断面が著しく楕円し、
挿入不足の原因となります。

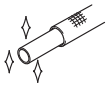
2 差し込み代の確保

保温材をめくったり押し込んで、差し込み代を確保する。

サ イ ズ	10	13	16	20
差し込み代(mm)	22	19	25	28

3 管端部の確認

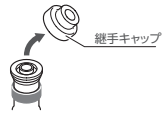
管端部にゴミ、バリ、ささくれ等がある場合は管内に入らないように除去する。



管の切断面が著しく楕円した場合は、
矯正して挿入してください。
挿入荷重が重く挿入不足の原因となります。

4 継手キャップを取る

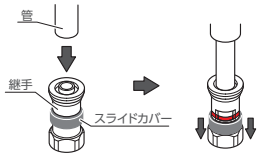
継手キャップを取る。



異物侵入防止の為、管接続の直前まで
継手キャップを取らないでください。

5 管と継手の接続

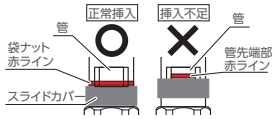
管を継手の奥まで一気に挿入する。



管を挿入した時にスライドカバーが下がりますので、手を挟まないように注意してください。

6 接続の確認

スライドカバーが下がり、袋ナット、赤ラインと管先端部赤ラインが同じ線上に揃っているのを確認する。その後、管を引っ張り抜けないことを確認する。



赤いラインがずれている場合は挿入不足なので、揃うまで差し込んでください。

●継手の分解・再接続は絶対に行わないでください。袋ナットは適切なトルクで締め付けられています。緩めたり、増締めしたりしないでください。継手の再使用はできませんので万が一再接続を行う場合は新しい継手と交換してください。
●継手部を直接コンクリートや土中に埋め込まないでください。
●銅管など熱を使う配管材との接続の際は、銅管などを先にロウ付けし冷却後、継手を接続してください。冷却前に接続すると継手内のパッキンが焼き付き、漏水の原因となります。
●シンナー・アセトン等の有機溶剤・防腐剤・防蟻剤などが、かからないようにしてください。
●直射日光の当たる場所に放置しないでください。
●締め付けの際は、袋ナットをパイプレンチでつかみ締めないでください。袋ナットが破損する恐れがあります。
●管を接続、固定してから継手を無理にねじこまないでください。管に過度な応力がかかりキズをつける恐れがあります。
●水道水もしくは飲用に適した井戸水にお使いください。
●最高許容圧力は2.5MPaです。使用水圧は0.75MPa(静水圧)以下で使用してください。
●水栓金具の対応できる給水温度85℃を使用上限温度とします。